

2025年 3月4日
No. 172

## 2025年度 東京蜘蛛談話会総会例会

1. 日時 2025年4月27日(日) 10時より(開場9時30分)
2. 場所 東京環境工科専門学校 〒120-0022 東京都墨田区江東橋 3-3-7  
JR 総武線 東京メトロ半蔵門線 錦糸町駅南口から徒歩3分
3. 連絡 当日は、東京環境工科専門学校の電話が使用できないので、緊急時には以下に連絡ください。  
加藤輝代子 090-7012-6458 初芝伸吾 090-6156-8378
4. その他 プロジェクター、PC 等用意いたします。
5. 講演をご希望の方は、演題を事務局初芝までお知らせください。

〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8 コンフィデンス高垣 105

有限会社エコシス 初芝伸吾

mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.jp

Tel : 042-501-2651 Fax:042-501-2652

●錦糸町駅南口から徒歩3分です。



## 東京蜘蛛談話会 2025 年度採集観察会

1. 期 日： 第1回 2025年 6月8日(日) 第2回 2025年 11月9日(日)
2. 場 所： 東京農業大学厚木キャンパス
3. 集 合： 9:30 小田急線本厚木駅南口改札  
(南口 14 番乗り場より神奈川中央交通バスで移動します)
4. 世話人： 初芝伸吾
5. 連絡先： 初芝携帯 090-6156-8378.

## 東京蜘蛛談話会例会

2024年12月1日 東京環境工科専門学校にて開催



参加者一同

(1) 蜘蛛の狩り 3 題

田仲義弘



(2) イソウロウグモ  
類の風変わりでない  
採餌行動(1) 餌盗み

新海 明



(3) タイ王国クモ見  
遊山の旅 2024

(4) 日本産ジグモ属  
の分類学的研究

谷川明男



(5) ハエトリグモの  
話題 2 題

須黒達巳



(6) 徳島県における  
クモ相調査の現状と  
課題

鈴木佑弥



(7) 外来種をどうす  
る？ イトグモ，マダ  
ラサソリほか・・・

小野展嗣



## 御殿谷川（八王子城址）から ②ヨリメグモ

新海 明

2024 年 12 月の東京蜘蛛談話会例会後の懇親会で久しぶりにお会いした安藤さんから八王子城址の御殿谷川が昨今の大雨で林道もろともに壊滅したというお話を聞いた。TV ニュースで放送されている各地の豪雨被害は御殿谷川にも及んでいたのだった。

「通信」に記してきた、私のクモ観察記はその思い出だけが残り、かつて足しげく通った調査地や思い出のクモたちは、大雨とともに消え去ってしまったようだ。

1980 年代初頭のことだ。ジョロウグモの網構造の面白さに気付き、その結果をアチブスという雑誌に発表した。中高生の夏休みの自由研究のような報告にエバーハードさんがコスタリカから反応してくれ、私の網研究はヒートアップした。次々に送られてきたエバーハードさんの論文を、辞書を片手に読むうちに網観察のポイントや論文の書き方も少しずつ判ってきた。年齢も 30 歳過ぎた時分だ。私は、さまざまなクモが織りなすその網の多様性に魅了され、さらにそれらの網の関係性やその由来に興味を持った。

その頃の日本では、円網への進化の鍵となるクモとして「ヨリメグモ」が存在すると言われていた（少なくとも私の周りでは…）。一方で海外の論文に接するとヨリメグモたちの仲間は、円網から派生したクモだという見解が多かったのだ。こんな背景で、私はヨリメグモの網構造について詳しく調べてみようと思った。その当時、網構造は外見だけでなく、その造りの詳細を見る必要や、造網過程も調べるべきだと思知られることが度々あったからだ。

調査地は御殿谷川の溪流沿いの林道のまたその奥にあった。ヨリメグモの網は昼間でも見られたが、造網の過程を調べてみたかったのだ。調査は夕方から夜中にかけて…となった。ヨリメグモは昼間も溪流のそばで網を張ったままだった。他のクモと同じように網の更新は夕方から始まる。ヨリメグモは溪流にたくさんいた。多ければ調査はしやすい。けれども、造網作業は夕方に一斉に行われるので、一晩に2~3例を記録するのがせいぜいであった。出来たら観察するのは造網初期のものが良い。出現ピークの初夏には毎週のように八王子城址に通った。私の興味は、中平先生が言われた「水中に至る網」がどのように作成されるか…だった。特に印象的だった一例をあげてみよう。

ヨリメグモは夕方になると、昼間に張ってあった「水中に至る網」の下流方向の縦糸を次々と切断し始めた。そして、そこに空間を作った。ただしこの空間にはこしきから伸びた縦糸が数本存在した（切断された縦糸が空間に数本ある…との説明は矛盾しているようだが、これを詳細に述べると誌面が足りない。新海・新海 1988 を参照）。その下方には横糸が複雑に絡んで古い網の残骸が緩やかな川のさざ波に揺られていた。この横糸の残渣の内側にヨリメグモは今宵の獲物を捕るために新たな横糸を張り始めた。この時、私はヨリメグモの驚くべき横糸張りの行動を目撃したのだ。

ヨリメグモは他の円網のクモと同じで外から内側へ向かって横糸を張り始めた。足場糸はなく、こしきを経由して横糸が張られていく。この時にクモは縦糸の一点から…水面に降りたのだ！そして水面に横糸を固定すると、その糸を上昇し横糸を引き出したまま元の縦糸に戻り、こしきを経由して隣の縦糸に移動した。つまり、横糸は縦糸から水面を経由して張られていた。

先人たちによって調べられ報告された「水中に至る網」は横糸が水面を経由してV字形に張られるだけであった。ただし、水平な網が完成したあとでこしき付近の縦糸が引



き延ばされるといいう変形が加えられたために横糸が複雑に絡み合っ  
て不規則網のようにも、  
円網のようにも見える  
「変わった網」になって  
いたのだ。ヨリメグモの  
特殊な網は造網過程を  
知ればフツの円網の変  
形バージョンに過ぎな  
いことが判明した。外  
国の研究者の指摘が正  
しかったことになる。

## 新刊紹介



知れば楽しい クモの世界  
～網の秘密と忍者のような能力～  
馬場友希著  
少年写真新聞社  
ISBN 978-4-87981-814-0  
C8095 NDC485  
本体 1600 円+税

## 第5回ハエトリグモ展 開催の案内

天 木 詩 織

会期：2025年4月24日～29日

会場：下北沢ギャラリースペースプラウト

いつもゆるクモをお楽しみいただき、誠にありがとうございます。談話会の皆さまの応援やご協力もあり、通信169号からイラスト掲載を開始しております。

その169号の中で、仲條さんが「ハエトリグモ展」を紹介されておりました。今年4月、その第5回目が開催されます。主催の尸さんをはじめ、ハエトリグモを共通テーマとして数名の作家が集い、各々のスタンスでハエトリの魅力を表現する、ハエトリファン必見の展覧会です。

この度、私も作家名義アマヒタキとして出展いたします。ゆるクモのイラストを用い

たアクリルキーホルダーやアクリルフィギュア，クリアファイルなどを展開予定です．他にもシルバーアクセサリや刺繍，ビーズアート，羊毛フェルト，手縫いのぬいぐるみやステッカーなど，様々な素材や手法から生まれたハエトリたちが会場に集まります．

そして会期をご覧いただいておりますの通り，会期中に談話会総会が開催されます．関東圏にお住まいの方はもちろん，遠方から出席される方もこの機会にぜひお立ち寄りいただき，ハエトリ尽くしの空間をお楽しみください．

展覧会の詳細や最新情報はハエトリグモ展の X アカウントにてご確認くださいませ．日によって開場時間が異なる場合がありますので，予めスケジュールをご検討の上お越しくださいませ．

X アカウント： <https://x.com/JanpingSpider>



前回（第4回）の展示風景



アオオビハエトリの亚克力キーホルダー



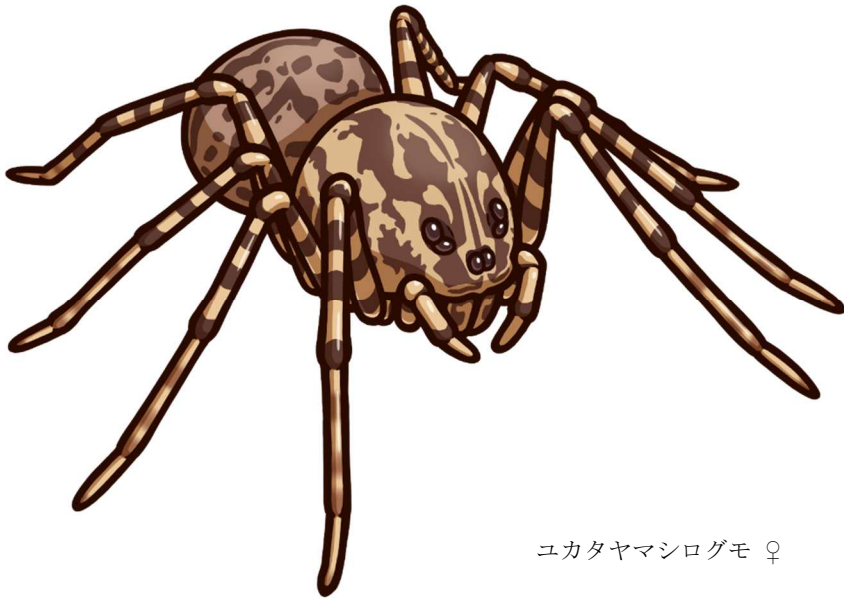
会場にやってきた1日店長

ゆるクモイラスト

天 木 詩 織



カガリビコモリグモ ♀



ユカタヤマシログモ ♀

入退会は：

事務局 初芝伸吾 〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8  
コンフィデンス高垣 105 有限会社エコシス  
E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

通信原稿投稿先：

谷川明男 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416  
E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp  
通信の原稿締め切りは、4月末、8月末、12月末です。

KISHIDAIA 原稿投稿先：

鈴木佑弥 〒770-8070 徳島市八万町向寺山（番地なし）徳島県立博物館  
E-mail : sasaganiya1206@gmail.com  
キシダイアの原稿締め切りは、6月末、12月末を目安とし、予算枠内のページ数まで先着順といたします。

東京蜘蛛談話会の会費は、一般 4000 円、学生 1000 円です。

**（しばらくの間会費を値下げしておりましたが、2022 年度より元の水準に戻し、一般 4000 円、学生 1000 円といたしました。）**

会費は郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。  
会費・住所変更は：会計担当 須黒達巳  
〒150-0013 渋谷区恵比寿 2-35-1 慶應義塾幼稚舎  
TEL : 080-5683-2765 E-mail: t.s.schlegelii@gmail.com